あわら市男女共同参画ネットワークの取り組み



あわら市男女共同参画ネットワークは、男女共同参画の推進を目的に活動している団体です。市内企業を訪問し、職場における男女共同参画の状況を把握するとともに、各企業の特色ある取り組みを市民の皆さんに紹介しています。

今回は、株式会社金津村田製作所を訪問し、総務担当者や有志の女性従業員の皆さんに企業の男女共同参画の取り組みについてお話を伺いました！

今回の訪問企業　株式会社金津村田製作所

【企業紹介】

1977 年に操業を開始した、スマートフォンや自動車に欠かせない電子部品を製造する村田製作所グループの企業です。一歩先を行くモノづくりで世界を支える一方、工場で使用する電力を 100％再生可能エネルギーで賄うなど、地球環境と地域社会の未来に貢献する環境先進企業として歩みを進めています。また、桜やイルミネーションの時期には敷地を一般開放するなど、地域とのつながりも大切にしています。

【企業の特色】

男女ともに働きやすい職場づくりを進めている企業です。従業員 306 人のうち約 100 人が女性社員で、事務系部門だけでなく技術系部門でも活躍しています。

育児休業制度では、女性の取得率がほぼ 100％となっており、近年は出産を理由とした退職者はいません。また、男性の育児休業取得促進にも積極的に取り組み、制度の周知や社内方針の徹底により、直近では対象者 8 人中 7 人が取得するなど高い実績を上げています。

さらに、育児短時間勤務制度は子どもが小学校 6 年生になるまで利用でき、家庭の状況に応じて柔軟に活用されています。介護休業制度や介護短時間勤務制度も整備し、介護離職の防止にも注力。業務の標準化や見える化、複数人で業務に対応できる体制づくりを進めることで、育児・介護休業を取得しやすく、復職後も安心して働き続けられる環境を整えています。

【有志団体「４M1Y」の取り組み】

社内有志団体「4M1Y」は、社内研修で知り合った女性社員５人が、「会社をもっと良くしたい」という思いから自主的に立ち上げたグループです。会社からの指示ではなく、従業員アンケートを通して職場の課題や期待を把握し、「社員の輪を広げる」「社内外のコミュニケーションを活性化する」「働きやすさを向上させる」「社員のモチベーションを高める」「『ありがとう』の気持ちで仕事を楽しもう」の５つをテーマに活動しています。

会社の魅力発掘では、社長や役員、ボランティア参加者など幅広い社員へのインタビューを実施。「困ったときに助け合える風土」「明るく前向きな社風」「立場を超えたつながり」など、企業の強みを引き出しています。また、社員同士の交流促進や福利厚生制度の周知、休憩スペースの改善など、働きやすい環境づくりにも取り組んでいます。さらに、社員一人ひとりの強みや魅力を「魅力カード」として可視化する取り組みや、「感謝ウィーク」でのメッセージ交換、「支え合いトーク」での育児・介護経験の共有などを通じて、互いを認め合い支え合う職場風土の醸成を図っています。また、社会福祉施設のパンの販売支援などの地域貢献活動に加え、「もったいないバナナ project」による食品ロス削減にも取り組むなど、SDGs や地域社会とのつながりを大切にしながら活動の輪を広げています。

企業訪問を終えて

法定基準を上回る小学校６年生まで利用できる育児短時間勤務制度や、「支え合いトーク」による男性育休取得者・介護短時間勤務利用者の体験共有、社員主体の「4M1Y」活動など、性別にとらわれず誰もが働きやすく、働きがいを感じられる職場づくりが行われていることが印象的でした。

若年女性の県外流出が深刻な課題となっているあわら市にとって、こうした取り組みは課題解決に向けた一つのモデルになると感じました。今後も、「あわらに戻って働きたい」「地元に残って働きたい」と思えるような魅力ある企業がますます増えることを期待します。（T）



まちかど graffiti では、広報係が取材した“あわらの話題”をお届けします！

新嘗祭へ献穀米を収穫

◆９月 20 日（日）　東山地区



令和８年新嘗祭に献納する献穀米の収穫に感謝を捧げる「新嘗祭供御献穀田抜穂式」が執り行われました。あわら市で献穀事業が行われるのは平成 29 年以来９年ぶりです。奉耕者の山口 志代治さんをはじめ関係者が参列し、厳かな雰囲気の中で神事に続いて稲穂を刈り取る抜穂式が行われました。収穫された献穀米は、皇居で執り行われる新嘗祭に献納されます。

長年の選挙啓発活動に総務大臣表彰

◆10 月２日（金）　市役所



あわら市明るい選挙推進協議会副会長の長谷川 幸子さんが、明るい選挙の推進に長年尽力した功績により総務大臣表彰を受賞されました。長谷川さんは、街頭啓発や研修会への参加、啓発資材の配布などを通じて有権者の投票意識の向上に努めるとともに、明るい選挙推進運動の普及・啓発に貢献されてきました。その長年の活動が高く評価され、今回の受賞となりました。

新たなシンボル　大型時計を寄贈

◆10 月５日（月）　市役所



金津春秋会から、中央公民館大ホールに大型壁掛け時計が寄贈されました。これまで設置されていた時計も同会から寄贈されたもので、長年にわたり公民館運営を支えていただいています。新たな時計は直径 70 センチメートルの大型タイプで、利用者からも「時間が見やすい」と好評です。中𠮷教育長は「中央公民館の新たなシンボルになりました」と感謝の意を述べました。

姉妹都市・香美市であわらの魅力を PR しました！



▼香美市役所を表敬訪問



▼刃物まつり会場



▲あわら市のブース

10 月 17 日・18 日に高知県香美市で開催された「刃物まつり」に、あわら市の特産品を販売するブースを出店しました。香美市は、アンパンマンの作者・やなせ たかしさんの故郷であり、平成 21 年に姉妹都市提携を結んで以来、継続的な交流を続けています。

ブースでは、温泉饅頭やかきもち、越前そば、羽二重餅などの特産品を販売しました。来場者からは「あわら温泉に行ったことがある」、「行ってみたい」といった声が聞かれ、特産品も好評のうちに完売しました。特産品の PR を通じて、あわら市の魅力を広く発信することができました。

また、香美市の人気施設であるアンパンマンミュージアムや道の駅、国指定史蹟天然記念物「龍河洞」などを視察し、姉妹都市の魅力をあらためて実感するとともに、両市の交流を深める機会となりました。



▲西島園芸団地



▲とさのさと



▶龍河洞

香美市ってどんなまち？

香美市は高知県東北部に位置し、面積の約９割を森林が占める人口約 24,000 人の市です。昭和 41 年にゆず栽培が始まり、ゆず玉の出荷量は 1,800 トンで日本一を誇っています。